思い込みとは、十分な根拠がないにもかかわらず、ただ憶測に基づいて真理だと思い込むことで、天動説のようにいったん正しいと思いこんだものから容易に抜け出せないのである。
　哲学対話により、人々と言葉を交わしながらゆっくり、じっくり考えることによって自己と世界の見方を深く豊かにするという良い点があると述べられている。
　私は哲学対話を家庭生活という場面で、当然のように誰かがやってくれている家族の仕事について思い込みを取り払って一度全員で見直し、より全員が過ごしやすい家庭になるように生かせると思う。家庭内の仕事は、母親が主にしているが、多くの人が家庭内の仕事は母親がやると思い込んでいるのではないだろうか。家庭内の仕事について誰の仕事かをじっくり考えたいと思う。一人一人が「食器を洗いやすいように汚れを落とす」や「洗濯物は自分で片付ける」などができる。家事は誰がやるという決まりが必要かと考えたり、家族全員が家庭内の仕事内容を共有して意見交換したりすることが必要ではないか。哲学対話をすることで当たり前という壁を無くし、過ごしやすくなると思う。私は、哲学対話で家族を知りその上で家族についての幸せを考えたいと思う。